

歴史コーナー常設展示 ―古文書をよむ―

## 石工・橋本勘五郎の古文書

橋本勘五郎(1822-1897)は、江戸時代後期から明治時代にかけて活躍した肥後石工の名工です。この展示では、橋本家に伝来した古文書を読み解き、橋本勘五郎の業績についてご紹介します。

### ハタチの勘五郎、石工として活躍中！

#### 1 覚

天保13年(1842)3月 橋本勘五郎文書1 八代市立博物館寄託

20歳の勘五郎(城八、丈八)が矢部御会所に宛てて書いた、代金の請取書です。浜町(現山都町)での道路舗装工事の代金を確かに受け取った旨が書かれています。これは、勘五郎の石工としての活動を示す、最も古い資料です。

この後、勘五郎は弘化4年(1847)の霊台橋(美里町)建造に関わり、5年後の通潤橋(山都町)の工事では石工の副頭を務めます。こうしてキャリアを確実に積み重ね、明治6年(1873)その腕を買われ、東京に赴くことになるのです。



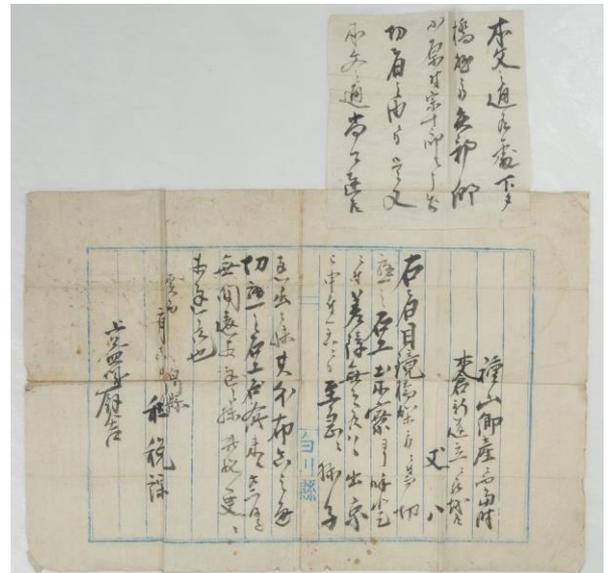
### 明治政府からのスカウト！ 勘五郎、東京へ

#### 2 白川県租税課通達書

明治6年(1873)2月18日 橋本勘五郎文書8 八代市立博物館寄託

この古文書は、白川県(のち熊本県)の租税課が上益城庁舎へ宛てた通達書です。当時勘五郎(丈八)は、新道建設のため木倉(現御船町)にいました。本文には、政府の土木寮が石橋造りのために勘五郎を東京に招きたいことや、その他優秀な石工を紹介してほしいことが記されています。このことから、熊本で霊台橋や通潤橋など数々の石橋を手掛けた丈八の功績が明治政府に認められたことが読み取れます。

また、上部の貼り紙は丈八の回答内容で、腕の立つ石工として矢部郷(現山都町)小原村の宗十郎という職人を推薦する旨が記されています。



### 東京で大活躍！お給料もアップ！

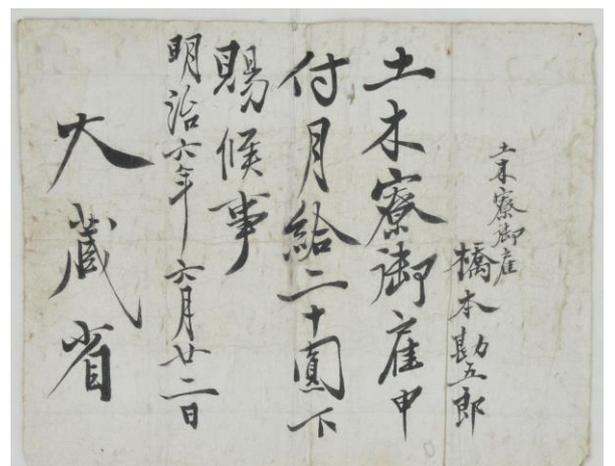
#### 3 大蔵省辞令

①明治6年(1873)3月12日 ②明治6年(1873)6月22日(右写真)

橋本勘五郎文書119・120 八代市立博物館寄託

①は明治6年(1873)3月、上京したばかりの勘五郎に宛てられた大蔵省の辞令書です。勘五郎を土木寮の技師として「月給十二円」で雇うと記されています。②は同年六月、同じく大蔵省が勘五郎に宛てた辞令書です。一見同じ内容に見えますが、よく見ると月給の金額が「二十円」にアップしていることがわかります。

上京した勘五郎は、この年、東京で最初の石造アーチ橋である神田筋違目鑑橋(万世橋)を完成させるなど、即座で大活躍をみせました。この給料アップはおそらく勘五郎の活躍ぶりを表していると考えられます。



「格別」の働きで特別ボーナス！

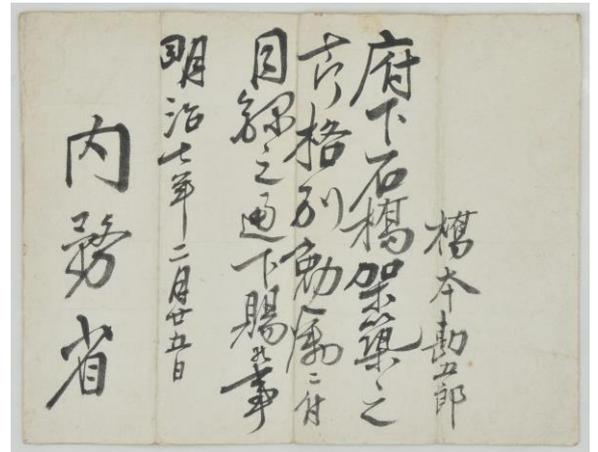
#### 4 内務省褒状・目録

明治7年（1874）2月25日

橋本勘五郎文書123 八代市立博物館寄託

この古文書は、内務省から勘五郎へ手渡された表彰状です。勘五郎は明治6年（1873）から神田筋違眼鏡橋（万世橋）や浅草橋など東京府下の重要な架橋工事に携わってきました。本文には、その仕事ぶりを「格別」と褒め称え、別紙の目録には勘五郎に金二千疋を与える旨が記されています。

この表彰状は、近代化を推し進める明治政府にとって勘五郎の働きが重要な役割を果たしたことを証明しています。



これが世界だ！勘五郎の上京みやげ

#### 5 新刻掌中航海世界全図

明治6年（1873）6月

橋本勘五郎文書108 八代市立博物館寄託

明治6年（1873）に大阪の書林会社が発行した世界地図です。緻密な銅版印刷によるもので、携帯用の小さなものですが、多くの情報量が含まれています。

表紙の裏に「西原 橋本」という墨書がありますが、この地図は勘五郎が上京した時に買い求めたと伝わるものです。当時の東京は、西洋文化を取り入れた文明開化真っ盛りの時期。勘五郎はさぞかしカルチャーショックを受けたでしょうし、新しい時代に向かうために、新しいさまざまな知識が必要であることを痛感したでしょう。この地図はまさに勘五郎の好奇心の広がりを示す一品です。



石橋だけでなく教育の礎も築きました！

#### 6 熊本県褒状

明治9年（1876）7月18日

橋本勘五郎文書118 八代市立博物館寄託

明治9年（1876）に、熊本県が勘五郎へ宛てた表彰状です。上京した勘五郎は東京で新しい文化に触れ、あらゆる知識や教養の大切さを痛感します。帰郷した後、勘五郎は地域の教育発展のために学資金を学校へ寄付しました。この功績が称えられ、熊本県からこの表彰状と盃が贈られたのです。

帰郷後も勘五郎は、明八橋や明十橋（いずれも熊本市）など熊本県内各地に多くの石橋を架設しました。その一方で、勘五郎は地域の教育発展にも大きく貢献していたことがうかがえます。

